

重点目標④「観光消費額」 政策評価

インバウンド需要を取り込み 観光消費額を増加 《観光消費額》 県内で旅行者が支出した宿泊費、 交通費、飲食費等の総計 (来訪者数×消費単価)	年	基準値 (2016)	最新値 (2020)	目標値 (2022)
	実績値	7,320億円	7,087億円	8,100億円

(目標値の考え)

プラン2.0の取組成果としては、延べ宿泊者数の増加により観光消費額の増加を図るため、外国人延べ宿泊者数を毎年増加させ、目標値を300万人とし、日本人延べ宿泊者数は高水準の維持を目標値とした。

インバウンド需要を取り込み 観光消費額を増加



日本人

2016年	2020年
7,075億円	6,802億円



外国人

2016年	2020年
244億円	285億円

3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり

- ・観光の担い手としての経営体づくり
- ・観光地域としての基盤づくり

2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成

- ・起業・スタートアップへの支援

2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進

- ・森林の持続的な管理と多面的な利活用

2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保

- ・就業促進と働き方改革の推進

3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大

- ・移住・交流の新展開

3-3 心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興

- ・文化芸術に親しむ基盤づくり
- ・地域に根付く文化芸術の継承・活用

3-7 先端技術の積極的な活用・導入

3-9 本州中央部広域交流圏の形成

- ・信州まつもと空港の発展・国際化の実現

4-5 地球環境への貢献

- ・生物多様性の保全

6-2 信州のブランド力向上と発信

3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり

- ・世界から観光客を呼び込むインバウンド戦略

2-3 海外との未来志向の連携

- ・海外活力の取り込み強化
- ・国際連携の強化

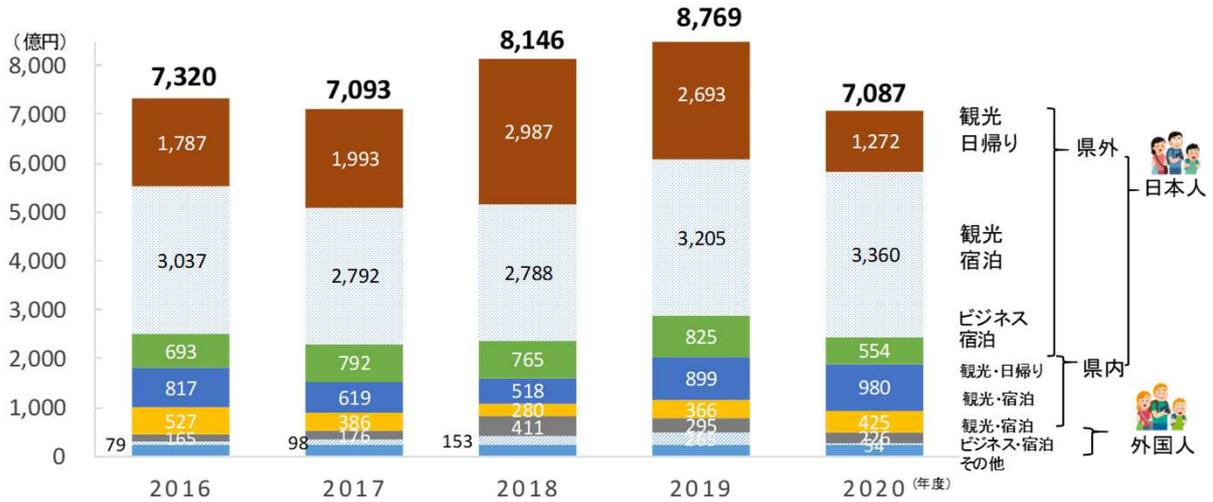
3-9 本州中央部広域交流圏の形成

- ・信州まつもと空港の発展・国際化の実現

重点目標④「観光消費額」 政策評価

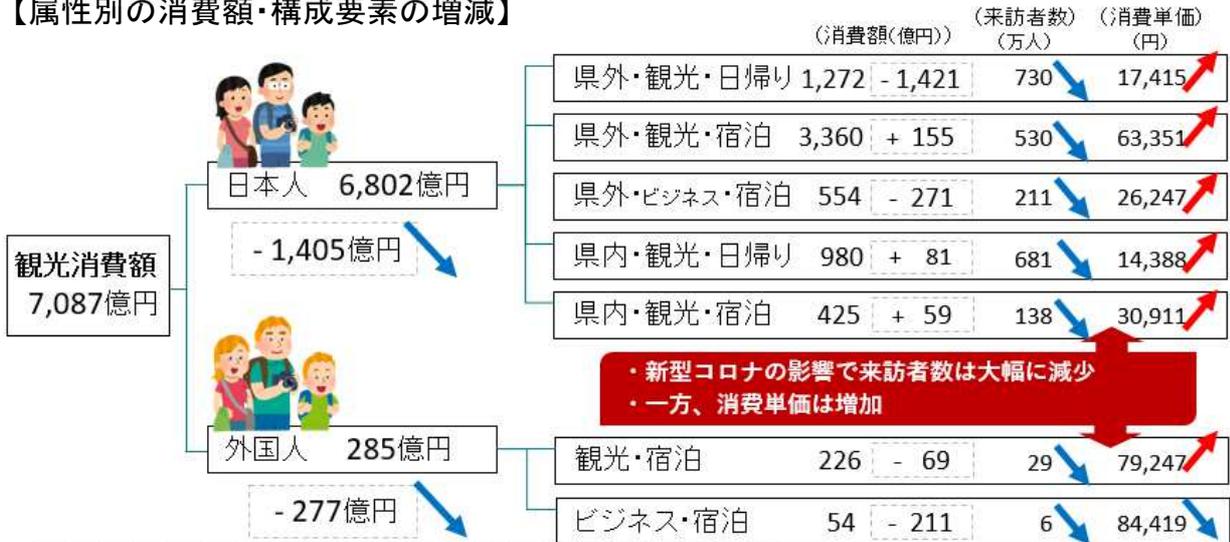
- ・2020年の観光消費額は、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年比△1,682億円(前年の8割程度)と大幅に減少し、3年ぶりに目標値を下回りました。
- ・「日本人旅行者」の消費額は6,802億円(前年比△1,405億円)となり大幅に減少しています。内訳をみると、全体として来訪者数・延べ宿泊者数は大きく落ち込む一方で、来訪者が1回の旅行で使う金額である消費単価は増加しています。来訪者数の減少が最も大きかったのは「県外からの日帰り観光客」(△50%超)であり、消費単価の増加が最も大きかったのは「県外からの宿泊観光客」です。
- ・「外国人旅行者」の消費額は285億円(前年比△277億円)となり、前年の半分程度となっています。

【観光消費額の年別・属性別推移】



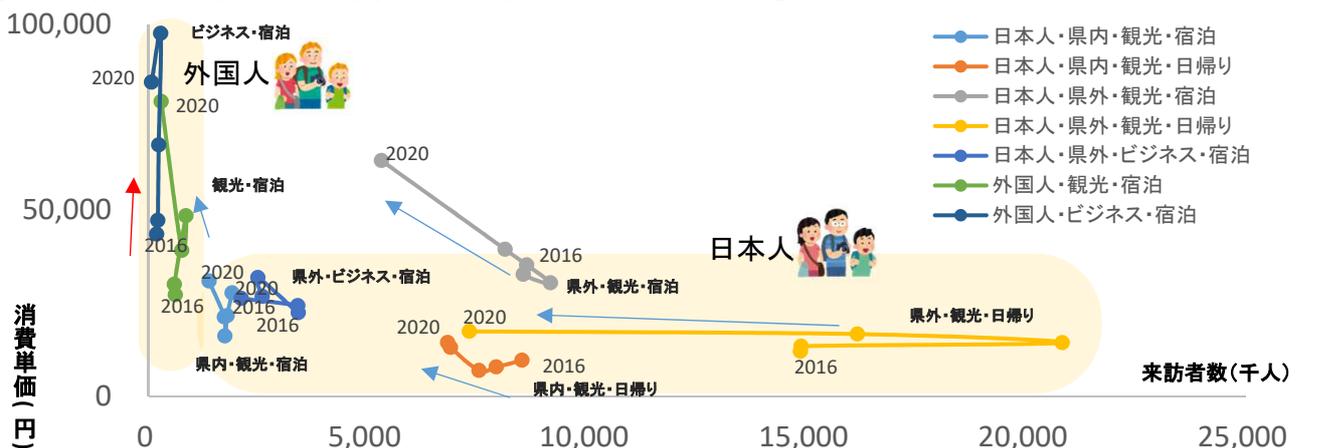
出典:長野県観光入込客統計(観光部)

【属性別の消費額・構成要素の増減】



出典:長野県観光入込客統計

【主な属性の来訪者数と消費単価の関係図(5か年の推移)】



出典:長野県観光入込客統計(観光部)

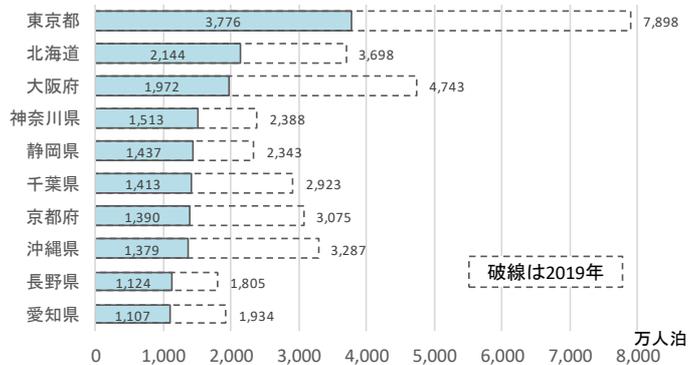
重点目標④「観光消費額」 政策評価

- ・2020年の延べ宿泊者数は前年比で、全国△44.3% 長野県△37.7%であり、本県は全国と比べて落ち込みは小さくなっています。
- ・月別で見ると、緊急事態宣言中である4～5月の落ち込みが最も大きく、第3波の初期である年末に減少の傾向がみられます。外国人延べ宿泊者数は、欧米での感染拡大が始まった3月以降激減し、年末まで回復は見られませんでした。

【延べ宿泊者数】

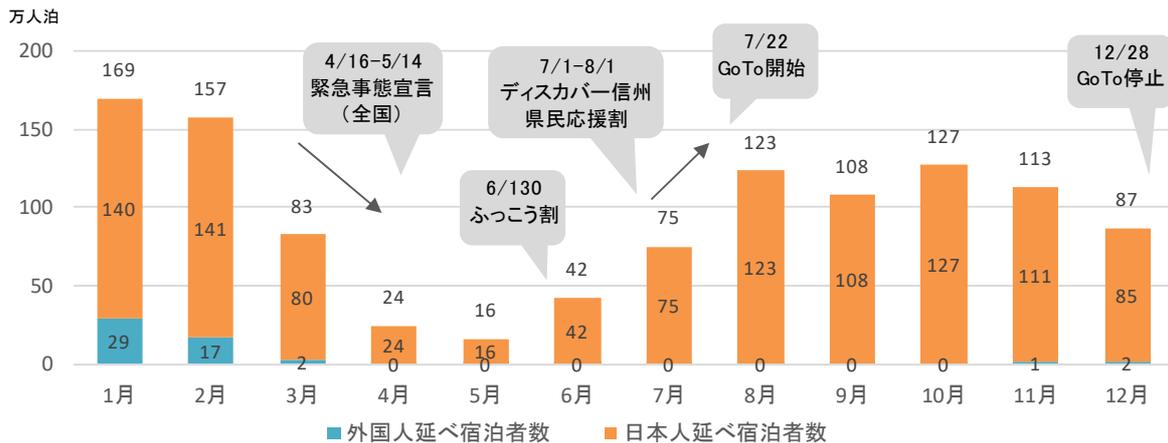
● 都道府県別の延べ宿泊者数(上位10県)

	2019年 延べ宿泊者数 (万人)	2020年 延べ宿泊者数 (万人)	対前年増減率 (%)
1 東京都	7,898	3,776	△ 52.2
2 北海道	3,698	2,144	△ 42.0
3 大阪府	4,743	1,972	△ 58.4
4 神奈川県	2,388	1,513	△ 36.7
5 静岡県	2,343	1,437	△ 38.7
6 千葉県	2,923	1,413	△ 51.7
7 京都府	3,075	1,390	△ 54.8
8 沖縄県	3,287	1,379	△ 58.0
9 長野県	1,805	1,124	△ 37.7
10 愛知県	1,934	1,107	△ 42.8
全国	59,592	33,165	△ 44.3



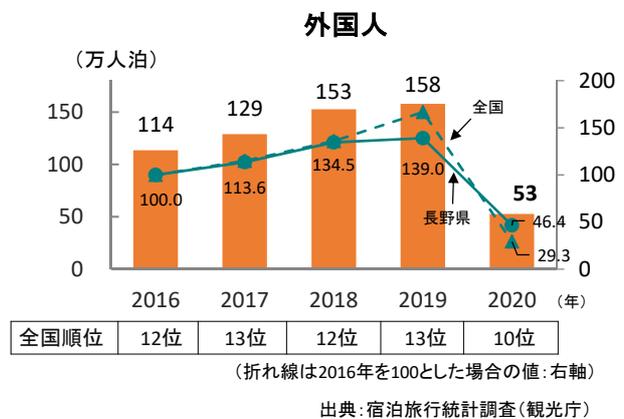
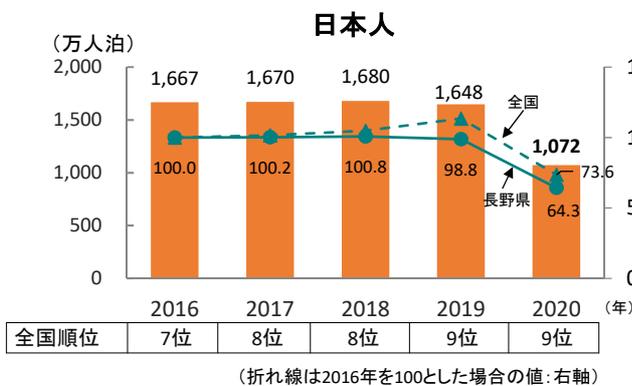
出典：宿泊旅行統計調査(観光庁)

● 長野県の延べ宿泊者数の月ごとの推移(2020年)



出典：宿泊旅行統計調査(観光庁)

● 延べ宿泊者数(日本人・外国人)



出典：宿泊旅行統計調査(観光庁)

● 平均宿泊数(日本人・外国人)

日本人
平均宿泊数は微減
[2016]1.29泊 ⇒ [2020]1.28泊

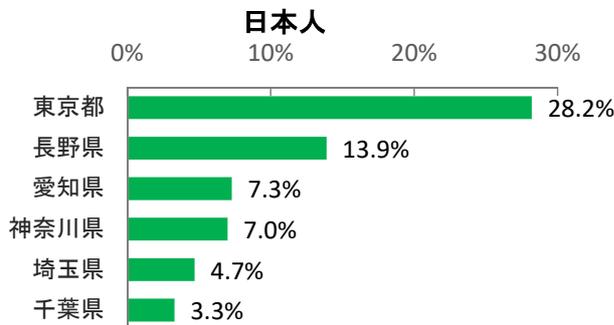
外国人
平均宿泊数は増加
[2016]1.48泊 ⇒ [2020]2.02泊

出典：宿泊旅行統計調査(観光庁)

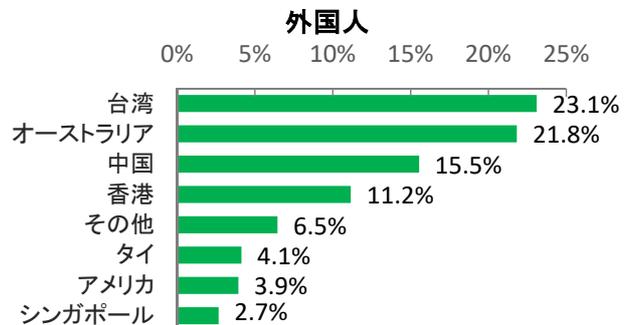
重点目標④「観光消費額」 政策評価

【本県を訪れる観光客の特徴】

● 来訪者の居住地(日本人・外国人)

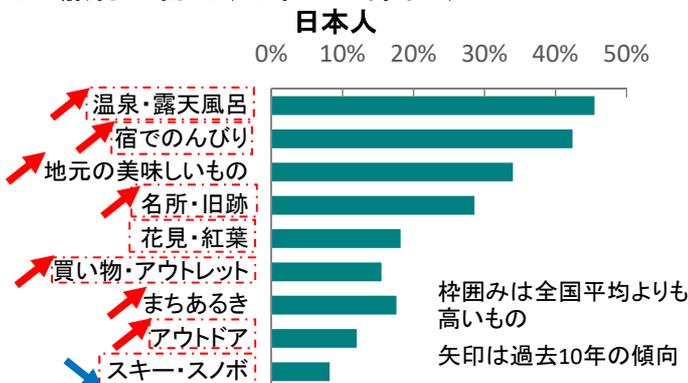


出典: 宿泊旅行統計(観光庁)

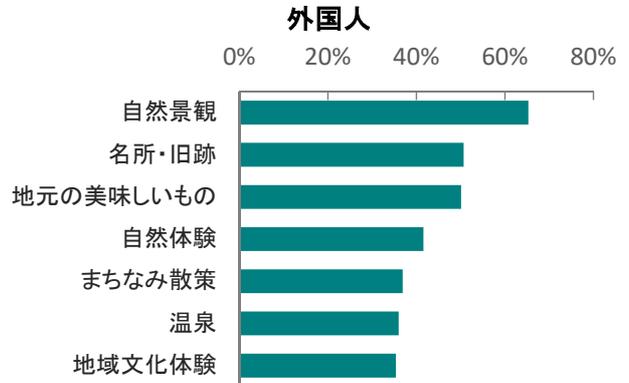


出典: 宿泊旅行統計(観光庁)

● 旅行の目的(日本人・外国人)



出典: 宿泊旅行調査2020(じゃらん)



出典: 2019年度来訪者満足度等アンケート調査(長野県観光機構)

【概括的な評価】

《日本人旅行者》

- ・日本人延べ宿泊者数は、前年比で全国△35.2%、長野県△35%と全国とほぼ同水準の落ち込みである一方、来訪者が1回の旅行で使う金額である消費単価は増加しています。
- ・新型コロナウイルス感染症により疲弊する観光関連産業を支援するためのGoToトラベル及び県の誘客施策が、より高価な宿泊施設の利用や地域クーポンを活用しての買い物など、消費を喚起するきっかけとなり、消費単価の増加要因になったものと考えられます。
- ・ワクチン接種の進行により来訪者の回復が見込まれることを踏まえ、今後は現状の高い消費単価を維持しつつ消費の動機付けとなるような、長期滞在型観光の推進や信州リピーターの獲得といった取組の一層の強化が必要です。

《外国人旅行者》

- ・欧米での感染拡大が始まった3月以降、外国人旅行者の延べ宿泊者数は激減し、回復しない状況が続いています。
- ・海外では、ワクチン接種の進行による旅行需要回復の動きも見られますが、日本ではワクチン接種の遅れという状況もあり、同様の動きはまだ限定的です。
- ・訪日外国人旅行者の意向調査(日本政策投資銀行・日本交通公社)によると、衛生面の配慮や清潔さへの期待からコロナ後の旅行先として日本が最も人気となっていることを踏まえ、インバウンドの回復期を見据えた戦略的な取組が必要と考えられます。